

石川県埋蔵文化財センターの令和3年度管理状況

様式 2

施設所管課	教育委員会文化財課
施設管理者	公益財団法人石川県埋蔵文化財センター
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数を5年間で5%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・まいぶん古代体験 古代体験コース（通年実施） 参加者 3,444人 （随時期間限定の体験メニューを実施） 古代体験まつり（10月10日） 参加者 650人 古代体験学習講座等（11回） 参加者 203人 ・まいぶん情報発信 いしかわの発掘展（7月17日～9月5日） 入館者 938人 講座 考古学最前線（11月27日） 参加者 80人 発掘報告会（3月6日） 参加者 110人 まいぶん考古学講座（3回） 参加者 52人 ・まいぶん出前教室 親と子の発掘体験教室（11月3日） 参加者 24人 出前考古学教室（40団体） 参加者 1,901人 ・その他 「石川まいぶん博士」認定によるリピーターの促進
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでのイベント・体験メニュー・出前講座等の情報発信、「いしかわの遺跡」の随時更新 ・年間行事案内の配布 ・マスコミへの古代体験関連の資料提供 ・所報「いしかわの遺跡」の発行 ・情報誌「石川県埋蔵文化財情報」の発行 ・新聞、広報いしかわによる情報発信 ・地域情報誌、フリーペーパーへの取材協力、情報発信 ・近隣施設との連携によるポスター・チラシの掲示

(2) 令和4年度における取組内容の見直し等

実施内容
<p>新型コロナ感染予防のため、体験事業等の一部に取り組めないものもあるが、H30年度から開始した「石川まいぶん博士」事業の更なる周知を図るとともに、重要文化財「加賀郡勝永（かがぐんぼうじふだ）」、県指定有形文化財「野々江本江寺（ののえぼんこうじ）遺跡出土品」の春・秋季公開にあわせて、小松市八日市地方遺跡から出土した「柄付き鉄製ヤリガンナ」の実物の展示を行う。また、博物館施設等からの実物資料の貸出し依頼に協力するなど、当センターが所蔵する資料の積極的な公開・活用により一層の利用者の増に努める。</p>

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～28 平均 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度	前年度比	基準値比	R4年度 (目標値)
(1) 利用者数 (人)	18,752人	18,410人	8,341人	9,135人	109.5%	48.7%	19,690人
(2) 貸館稼働率 (%)	—	—	—	—	—	—	—
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス (%)	99.0	98.6	98.9	98.6	- .30 _{ポイント}	- .40 _{ポイント}	95%以上
施設の維持管理 (%)	98.3	97.5	100.0	100.0	.0 _{ポイント}	1.70 _{ポイント}	95%以上

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策によりR3.5.12～6.13、7.31～9.30は臨時休館となったが、ゴールデンウィークは開館でき、人気イベントの一つである「手形・足形づくり」が感染対策徹底のうえ開催できたため増加。 (参考) GW利用者数 R2 0人 (閉館のため) R3 2,063人 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策でR3.5.12～6.13、7.31～9.30に全館閉館等による減。 (参考) 5・6・8・9月来館者数 H26～28年度平均 9,522人 R3年度 1,872人 ・古代体験まつりの来館者の減少。 (参考) H26～28年度平均 1,213人 R3年度 650人
貸館稼働率	—	—

<利用者アンケート結果 (令和3年4月～4年3月実施 有効回答数74件) >

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (%)	87.6	11.0	1.4	0.0
施設の維持管理 (%)	83.6	16.4	0.0	0.0

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・定期（日常）清掃 本館毎日、体験工房週3回 ・ワックス清掃 年3回 ・ガラス清掃 年3回 ・ネズミ、害虫防除 年2回
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・電気設備 年6回 ・昇降機設備 年12回 ・簡易専用水道 年1回 ・クレーン設備 年12回 ・消防設備 年2回 ・空気調和設備 年8回 ・地下タンク（灯油）年1回
(3) 植栽維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木剪定（53本） ・雪吊り（中高木21本、低木80組） ・除草作業（年6回）
(4) 警備	・夜間機械警備、設備（消防設備発報、空調設備異常）監視
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・給水ポンプユニット修繕 ・吸収式冷温水機1号機加圧漏洩修繕 ・本館電気温水器取替修繕 ・消防設備修繕（煙感知器取替ほか） <p style="text-align: right;">ほか多数</p>

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター執務体制要領の策定 ・熱中症講習会の実施（5月26日） ・シェイクアウトいしかわ（7月7日） ・産業医発掘現場指導（7月22日） ・消防訓練の実施（11月26日）
(2) 個人情報の管理状況	・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター個人情報保護規程を定め適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

（単位：件）

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
合計	0	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

（単位：千円）

項目	収入額	減免額	減免理由
合計	0	0	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	39,862	人件費	10,174
利用料収入		光熱水費	6,769
その他		修繕費	6,565
		その他	16,354
合 計 ①	39,862	合 計 ②	39,862
収支差額 ①－②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和3年4月	もっとセンターをPRしたらよいと思う。	イベントごとに資料提供し、広報いしかわへの掲載や関係各所へのチラシ配布等行っている。
令和3年7月	親切に興味深く説明してもらいよかった。	引き続き来館者の要望に応じた丁寧な説明に努める。
令和3年7月	記念に残るような土産物ショップを作してほしい。(菓子など)	現時点では検討していないが、来館者にクリアファイルや、体験で制作した作品、「石川まいぶん博士」による景品等、記念となるようなものを持ち帰っていただいている。
令和3年11月	表示されている文字が小さく、高齢者には見にくい。	来館者の属性に応じた対応に努める。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応

8 その他報告事項など

基本協定（仕様書）の規定により、毎月施設管理作業確認表を作成し、実施状況を報告。
--

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の強化による啓発、親子・家族連れを対象にした古代体験メニューの充実や展示品の随時入れ替えなどによる対象の拡大と啓発を継続して図るほか、利用者アンケートから要望を把握し、より快適な環境整備に努めている。 ・親しみやすい雰囲気創出のため、来館者をはじめとした本センターに興味を持った方々に対し、わかりやすく、丁寧に対応するよう職員の接遇向上に努めている。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務については、専門性、効率化等を考慮し、適正に委託を実施しているほか、定期的に職員が施設・設備の安全点検を実施し、修繕等にも的確、迅速に対応している。 ・サーモグラフィの設置や定期的な館内の消毒、換気など新型コロナウイルスの感染防止対策をしっかりと行った上で施設を管理している。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な職員の配置がなされ、職員の資質向上のため業務に関する研修会・講習会を開催している。また、災害に対応するため、執務体制要領を作成するとともに、防災訓練を実施している。 ・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター個人情報保護規定事務要綱を定め、職員に周知徹底をはかり、適切な情報管理を行っている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の発掘調査、出土品の整理、保存、収蔵管理及び普及啓発を行うとともに、施設の設置目的に合致した適切な管理運営を行っている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

特になし